

H851

NSYH851D1-A2205

SEIKO WATCH CORPORATION

Copyright©2019 by SEIKO WATCH CORPORATION

Printed in China

T-7

SEIKO

H851

空気潜水用防水ダイバーズウォッチ 取扱説明書
DIVER'S WATCH FOR AIR DIVING INSTRUCTIONS

日本語 **JA 1**

English **EN 1**

そのほかの言語の取扱説明書は、パソコンやスマートフォンから当社ホームページ内の「カスタマーサービス」>「取扱説明書ダウンロード」にアクセスいただき、ご覧ください。

Please refer to the Instruction Manuals of other languages by accessing "Customer Service"→ "Instruction" on our Website from PC or Smartphone.

Deutsch / Français / Italiano / Español /
Русский язык / العربية / Português /
简体中文 / 繁體中文 / 한국어 / ไทย



<https://www.seikowatches.com/>

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談室へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いいただけない場合があります。

※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

JA 1

⚠ 警告

ご使用前に必ずお読みの上、必ずお守りください。

⚠ 警告

潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。誤った使い方をされ、表示内容の正しい理解を怠ると、死亡事故または重症事故につながる可能性があります。

⚠ 警告

ダイバースウォッチは主に時間経過を表示する補助計器であり、使用者の安全を保障するものではありません。安全のためダイビング用に必要とされる機器(残圧計、水深計等)を併用することが必要です。

⚠ 警告

ヘリウムガスを使用する「飽和潜水」には絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

スキューバダイビングの正しい訓練を受け、安全な潜水に必要な不可欠な経験と技術を有し、本製品の操作と取り扱いを完全にマスターし、毎回の潜水前に本製品をすべて点検してください。そうでなければ、本製品を使用する潜水は行わないでください。

JA 2

⚠ 注意

ご使用前に必ずお読みの上、必ずお守りください。

⚠ 注意

潜水(飽和潜水を除く)の前に次の項目を点検してください。

- 時計が正常に作動しているか
- 電池やぜんまいの残量は十分か
- 回転ベゼルの回り具合は良好か(ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか)
- りゅうず等のねじをしっかりと締められているか
- バンドとガラスに傷、ひび等の異常がないか
- バンドの固定は確実か(ばね棒、とめ金、その他)

※これらに異常が認められる場合は、ダイビングには使用しないでください。

⚠ 注意

水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。

⚠ 注意

ダイバースウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、3～4年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。

JA 3

目次

1 操作について

製品取扱上のご注意	6
潜水に際しての注意事項(必ずお読みください)	10
潜水前	10
潜水中	12
潜水後	13
ケース構造について	14
製品の特長	15
各部の名称と主なはたらき	17
ねじロック式りゅうずについて	18
ねじロック式ボタンについて	19
表示の切り替えについて	20
回転ベゼルの使いかた	21

2 時刻・日付の合わせかた

時刻・日付の合わせかた	23
針の基準位置の合わせかた	26
アラーム音の試し聞きと 報時・操作確認音の設定について	29
ローカルタイムの合わせかた	30

3 ストップウォッチの使いかた

ストップウォッチの使いかた	32
---------------	----

4 アラームの使いかた

アラームの使いかた	34
-----------	----

5 ソーラー充電機能について

充電について	37
充電のしかた	37
充電にかかる時間のめやす	38
エネルギー残量について	39
パワーセーブ・スリープ機能について	41

6 ご注意いただきたいこと

使用電源について	42
お手入れについて	44
性能と型式について	45
ルミブライトについて	46
耐磁性能について(磁気の影響)	47
バンドについて	49
ダイバーアジャスターの操作	51
ダイバーエクステンダーの使いかた	53
アフターサービスについて	55

7 困ったときは

こんなときには	58
システムリセットのしかた	61

8 製品仕様

製品仕様	62
------	----

1

製品取扱上のご注意

警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定される内容を示します。

次のような場合、ご使用を中止してください。

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご連絡ください。

乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。

- 部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
- 万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

時計から二次電池を取り出さないでください。

- ※ 二次電池について → 使用電源について → P. 42
- 二次電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。
- 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂・発熱・発火などのおそれがあります。

注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください。

- 揮発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
- 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ
- 高温多湿なところ
- 磁気や静電気の影響があるところ
- ホコリの多いところ
- 強い振動のあるところ

アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

その他のご注意

- 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。
- 手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
- けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- 掲げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
- 衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

1

⚠ 警告

ヘリウムガスを使用する「飽和潜水」には絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。

⚠ 警告

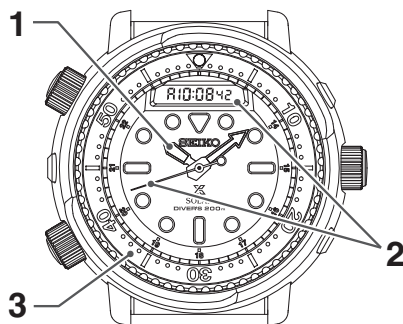
ダイビングでの使用にあたっては、各種のダイビングに関する安全教育やトレーニングを受け、ルールを守ってご使用ください。

潜水に際しての注意事項(必ずお読みください)

■ 潜水前

潜水の前に、次の項目を点検してください。
※「各部の名称と主なはたらき」→ P. 17

- 1 時刻が正確にセットされているか。
- 2 秒針が1秒ごとに動いているか。
2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。
※「充電について」→ P. 37
- 3 回転ベゼルの回り具合は良好か。
(ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか。)
※「回転ベゼルの使いかた」→ P. 21



⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。
時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めにお買い上げ店・弊社お客様相談室にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびるにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

4 りゅうずとボタンのねじをしっかりと締めてあるか。

※「ねじロック式りゅうずについて」
→ P. 18

※「ねじロック式ボタンについて」
→ P. 19

5 バンドとガラスにひび、カケ等の異常がないか。

6 バンドの固定は確実か。
(ばね棒、とめ金、その他)

⚠ 注意

万が一、異常が認められた場合はお買い上げ店、またはお客様相談室にご相談ください。

■ 潜水中

次の項目をご確認の上、ご使用ください。



空気潜水において、文字板などに表示された深度までの範囲でご使用ください。



岩などにぶつけないように注意してください。



水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。

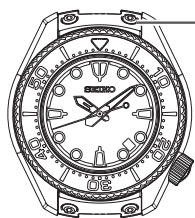


回転ベゼルは水の中ではやや回転がきつくなるがありますが、異常ではありません。

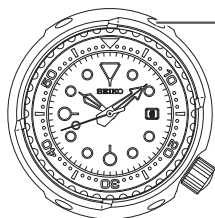
■ ケース構造について

下のようなモデルの場合は、下記の内容に注意してご使用ください。

ベゼルまたは外胴を固定するための留めねじがあります。
留めねじは絶対にゆるめないでください。



留めねじ



留めねじ

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

△ 注意

ベゼルまたは外胴を固定している留めねじは、絶対にゆるめないでください。
故障や紛失の原因になります。

※留めねじに異状を発見した場合は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご相談ください。

■ 潜水後

潜水後のお手入れは、次のように行ってください。



必ず真水でよく洗ってから、ふき取ってください。

直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。



△ 注意

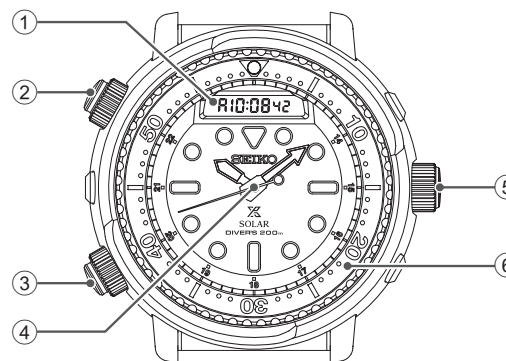
ダイバーズウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、3~4年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。

製品の特長

- 空気潜水用防水性能..... この時計は、空気ポンペを使用する潜水向け仕様として、長時間の水中使用に耐えうる耐水性能を備えています。(ヘリウムガスを使用する「飽和潜水」には使用できません。)
- 時刻・カレンダー機能..... 2001年~2100年のフルオートカレンダーです。デジタル表示画面に曜日と日付を表示します。
→ P. 23 「フルオートカレンダー」→ P. 25
- ローカルタイム表示機能..... アナログ表示にホームタイムの時刻を表示しながら、デジタル表示にローカルタイムの時刻を表示できます。
→ P. 30
- ストップウォッチ機能..... 最大100時間まで計測可能です。
→ P. 32
- アラーム機能..... 設定した時刻(時・分)で毎日鳴るデイリーアラーム機能付です。
→ P. 34

- **ソーラー充電機能**.....文字板上のソーラーパネルで光を電気エネルギーに換え、充電します。フル充電後、光が当たらない状態でも、約 6 ヶ月間の動作が可能です。
→ P. 37
- **パワーセーブ・スリープ機能**.....光が当たらず、りゅうずやボタン操作がない状態が一定時間以上続くと、無駄なエネルギー消費を抑えるために節電機能がはたらきます。
→ P. 41
- **エネルギー残量レベル表示機能**...現在のエネルギー残量を 10 段階で表示します。充電のめやすとなります。
→ P. 39

各部の名称と主なはたらき



- ① **デジタル表示**
「表示の切り替えについて」
→ P. 20
- ② **ボタン B**
「ねじロック式ボタンについて」
→ P. 19
- ③ **ボタン A**
「ねじロック式ボタンについて」
→ P. 19
- ④ **アナログ表示**
・ 時針
・ 分針
・ 秒針
- ⑤ **りゅうず**
「ねじロック式りゅうずについて」
→ P. 18
- ⑥ **回転ベゼル**
「回転ベゼルの使いかた」
→ P. 21

ねじロック式りゅうずについて

誤動作の防止と防水性の向上のために、使わないときはりゅうずをねじでロックできる構造です。

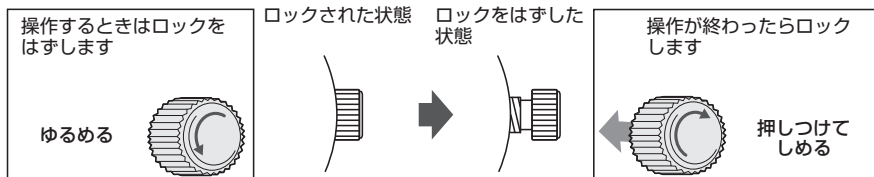
- ・ りゅうずを操作するときはロックをはずしてください
- ・ 操作が終わったらロックをしてください

【ロックのはずしかた】

りゅうずを左回り(反時計回り)に回してください。ねじがゆるんで、りゅうずが操作できるようになります。

【ロックのしかた】

りゅうずを時計本体に軽く押しつけながら、右回り(時計回り)に止まるところまで回してください。



※ロックをするときは、ねじのかみあい具合に注意してゆっくりと押しながらかけてください。無理に押し込むと、ねじ部(ケース)を壊す恐れがありますのでご注意ください。

ねじロック式ボタンについて

誤動作の防止と防水性の向上のために、使わないときはボタンをねじでロックできる構造です。

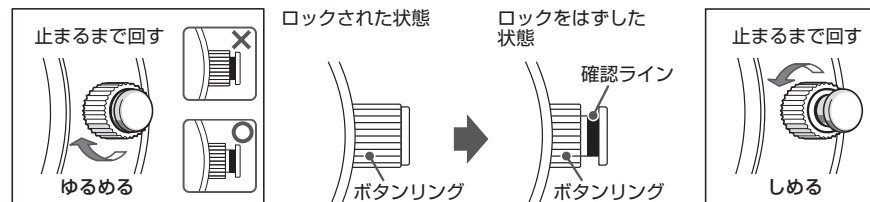
- ・ ボタンを操作するときはロックをはずしてください
- ・ 操作が終わったらロックをしてください

【ロックのはずしかた】

ボタンリングを右回り(時計回り)に回してください。確認ラインがはっきり見え、ボタンリングが止まるところまで回すと、操作できるようになります。

【ロックのしかた】

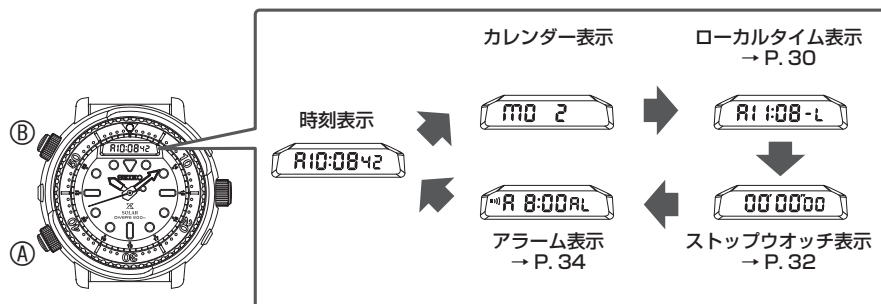
ボタンリングを左回り(反時計回り)に止まるところまで回してください。



※汚れなどが付着すると、ねじ部・ボタンが正常に動作しないことがあります。「お手入れについて」→ P. 44
※必要以上に回すと、ねじロックボタンを元に戻しにくくなりますのでご注意ください。
※ダイビングの前に、両方のボタンがしっかりとロックされていることを確認してください。
※時計がぬれているとき、もしくは水中にあるときは、ボタンを操作しないでください。

表示の切り替えについて

ボタン (A) を押すと、デジタル表示が切り替わります。



- ※どの表示のときでもボタン (A) を長押しすると、時刻表示に切り替わります。
- ※操作確認音が設定されていると、表示を切り替えることに音になります。
(操作確認音については、P. 29 をご確認ください。)
- ※デジタル表示がストップウォッチ表示以外のときに、ボタン (B) を長押しするとエネルギー残量レベルが確認できます。→ P. 39
- ※デジタル表示がストップウォッチ表示以外のときにボタン (B) を押すと、デジタル表示のライトが点灯します。

【逆回転防止ベゼルについて】

ダイバーズウォッチでは、潜水時間がエア残量に影響するため、ベゼル上での経過時間が実際の潜水時間よりも短くならないように、反時計方向にしか回転しない構造になっています。

△注意

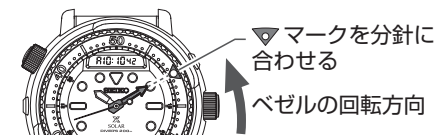
潜水時にはエア残量の確認をしっかりと行い、回転ベゼルによる経過時間は一つのめやすとお考えください。

回転ベゼルの使いかた

回転ベゼルを使って、経過時間を測定することができます。

1 時間の測定を開始するタイミング (例) 10時10分に潜水を開始した場合
で(例えば潜水開始時に)、▼マークを分針に合わせる

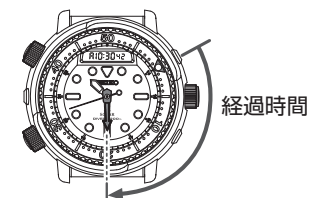
- ※回転ベゼルは、反時計方向にしか回転しません。
無理に時計方向へ回さないでください。
【逆回転防止ベゼルについて】
→ P. 22



2 分針が指す回転ベゼル上の目盛を読む

分針が指す回転ベゼル上の目盛が経過時間です。

(例) 20分経過後



※モデル(デザイン)はお買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

時刻・日付の合わせかた

この時計のデジタル表示の時刻とアナログ表示の時刻は連動しています。デジタル表示の時刻を合わせることで、アナログ表示の時刻も一緒に合わせられます。
※デジタル表示の時刻とアナログ表示の時刻がずれている場合は、針の基準位置がずれています。
針の基準位置を合わせてください。→ P. 26

1 りゅうずとボタンのロックをはずす

- ※「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 18
- ※「ねじロック式ボタンについて」→ P. 19

2 ボタン (A) を長押しして、デジタル表示を時刻表示にする

- ※「表示の切り替えについて」→ P. 20



3 りゅうずを引き出す

- ※アナログ表示の針が止まり、デジタル表示の「秒」が点滅します。



4 りゅうずを回して、時刻とカレンダーを合わせる



※ボタン(A)を押すと、設定できる項目の点滅が切り替わります。



※秒を合わせるときは「秒」の項目を選び、時報に合わせてりゅうずを回します。
 ※秒表示が30～59秒のときにりゅうずを回すと、1分繰り上がって「00」に合います。
 ※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117 が便利です。
 ※年月日を設定すると、「曜日」は自動的に設定されます。

5 りゅうずを押し込む

※アナログ表示の針が設定した時刻に動き、時計が動き始めます。



6 りゅうずとボタンをロックする

※「ねじロック式りゅうずについて」→P. 18
 ※「ねじロック式ボタンについて」→P. 19

※この時計はフルオートカレンダー機能を搭載しています。2001年から2100年までの年・月・日・曜日がプログラムされていますので、この間は月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。

針の基準位置の合わせかた

アナログ表示の時刻がデジタル表示の時刻と合わない場合は、針の基準位置を修正する必要があります。

1 りゅうずとボタンのロックをはずす

※「ねじロック式りゅうずについて」→P. 18
 ※「ねじロック式ボタンについて」→P. 19

2 ボタン(A)を長押しして、デジタル表示を時刻表示にする

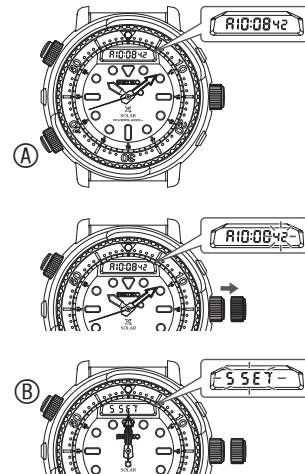
※「表示の切り替えについて」→P. 20

3 りゅうずを引き出す

※デジタル表示の秒が点滅します。

4 ボタン(B)を長押しする

※すべての針が移動後、停止し、デジタル表示に「S SET」が点滅表示されます。
 ※このとき、基準位置合わせの対象の針が小さく逆転・正転し、位置合わせができる状態を示します。



5 すべての針を12時位置(基準位置)に合わせる

- りゅうずを回して秒針を進め、12時位置に合わせる
(合っている場合は②へ)
※りゅうずを左回り(反時計回り)に回しても秒針は動きません。
- ボタン(A)を押して基準位置からずれている針を選択する
※このとき、選択された針が小さく逆転・正転し、位置合わせができる状態を示します。
- りゅうずを回して、12時位置に合わせる



6 りゅうずを押し込む

※アナログ表示の針が現在時刻に動き、時計が動き始めます。



7 りゅうずとボタンをロックする

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 18

※「ねじロック式ボタンについて」→ P. 19

ローカルタイムの合わせかた

時刻表示で合わせた時刻とは別の時刻をローカルタイムに設定できます。
海外旅行のときなどに便利です。

1 りゅうずとボタンのロックをはずす

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 18

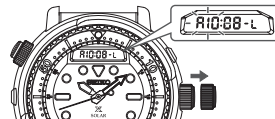
※「ねじロック式ボタンについて」→ P. 19

2 ボタン(A)を押して、デジタル表示をローカルタイム表示にする

※「表示の切り替えについて」→ P. 20

3 りゅうずを引き出す

※デジタル表示の「時」が点滅します。

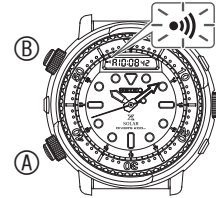


■ アラーム音の試し聞きと報時・操作確認音の設定について

● アラーム音の試し聞きをする

デジタル表示が時刻表示のときに、ボタン(A)とボタン(B)を同時に押し続けるとアラーム音の試し聞きができます。

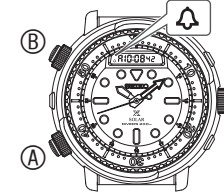
アラームマークが点滅



● 報時・操作確認音の設定する

デジタル表示が時刻表示のときに、ボタン(A)とボタン(B)を同時に押すと報時・操作確認音の設定と解除ができます。

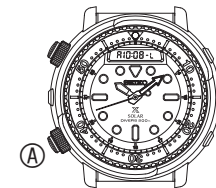
報時マーク



※このとき、アラーム音の試し聞きが作動しますが、異常ではありません。

4 りゅうずを回して、時刻を設定する

※ボタン(A)を押すと、「分」の設定に切り替わります。



右回り(時計回り):
時刻が進む

左回り(反時計回り):
時刻が戻る

5 りゅうずを押し込む



6 りゅうずとボタンをロックする

※「ねじロック式りゅうずについて」

→ P. 18

※「ねじロック式ボタンについて」

→ P. 19

ストップウォッチの使いかた

3

ストップウォッチの使いかた

1/100 秒単位で、最大 99 時間 59 分 59 秒まで計測できます。
60 分以上は、1 秒単位で計測できます。
※ストップウォッチ表示の場合、ライトは点灯しません。

1 ボタンのロックをはずす

※「ねじロック式ボタンについて」→ P. 19

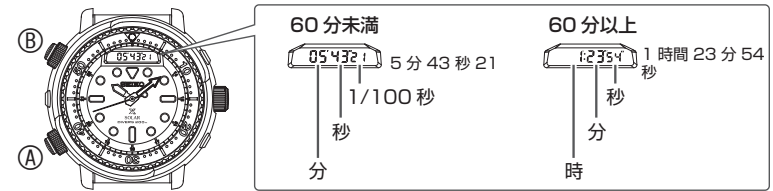
2 ボタン(A)を押して、デジタル表示をストップウォッチ表示にする



JA 32

3 ボタン(B)を押して、計測を開始する

※ボタン(B)を押すことに、スタートとストップが切り替わります。
※ボタン(B)を長押しすると、計測時間がリセットされます。
※計測中にボタン(A)を押してデジタル表示を切り替えても、そのまま計測は続けられます。
※最大計測時間を超えた場合は、自動的に計測がストップし、リセットされます。



※計測が終わったら、ボタンをロックしてください。
「ねじロック式ボタンについて」→ P. 19

3

ストップウォッチの使いかた

アラームの使いかた

毎日設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。

1 りゅうずとボタンのロックをはずす

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 18
※「ねじロック式ボタンについて」→ P. 19

2 ボタン(A)を押して、デジタル表示をアラーム表示にする

※「表示の切り替えについて」→ P. 20

3 りゅうずを引き出す

※デジタル表示の「時」が点滅します。



4 りゅうずを回して、時刻を設定する

※ボタン(A)を押すと、「分」の設定に切り替わります。



5 りゅうずを押し込む

※自動的にアラームがオンにセットされます。



6 りゅうずとボタンをロックする

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 18
※「ねじロック式ボタンについて」→ P. 19

4

アラームの使いかた


4

アラームの使いかた

JA 34

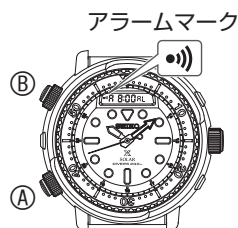
JA 35

■ アラームの確認方法

アラームがセットされている時はアラームマーク  が表示されます。

■ アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき

デジタル表示がアラーム表示のときに、ボタン **(A)** とボタン **(B)** を同時に押すとアラーム音のオン/オフ切り替えができます。



アラームマーク

■ 鳴っているアラームを止めるには

アラームはセットした時間になると、10 秒間鳴ります。
鳴っているアラームを止めるには、いずれかのボタンを押します。

■ 充電にかかる時間のめやす

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

エネルギー残量 レベル表示	BATT 0 (全消灯)	BATT 1	BATT 2~ BATT 3	BATT 4~ BATT 6	BATT 7~ BATT 10	一日分の 充電時間
晴れた日の屋外	約 10 時間					約 2 分
	約 8 時間					
	約 4 時間					
晴れた日の窓際	約 2 時間					約 20 分
	約 95 時間					
	約 80 時間					
くもりの日の窓際	約 40 時間					約 60 分
	約 15 時間					
	約 310 時間					
蛍光灯下の屋内	約 255 時間					約 4 時間
	約 135 時間					
	約 50 時間					
	約 220 時間					

※「BATT」は、デジタル表示では「bATT」と表示されます。

※十分に充電しても時刻が復帰しない場合は、「時刻・日付合わせ」および「針の基準位置合わせ」をしてください。

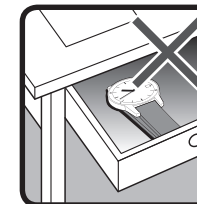
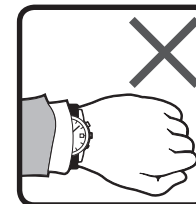
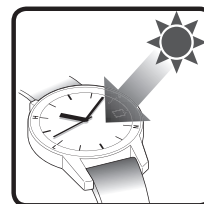
「時刻・日付の合わせかた」→ P. 23

「針の基準位置の合わせかた」→ P. 26

充電について

■ 充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、
十分な充電をすることを心がけましょう。

以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、
時計が止まる可能性が高くなります。

- 時計が衣類のそでの中に隠れている
- 光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。(作動温度範囲は 0℃～+ 50℃です。)

※使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、P. 38 の表をめやすに十分な充電をしてください。

■ エネルギー残量について

● 2 秒運針について

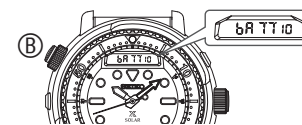
エネルギー残量が少なくなると、秒針が 2 秒ごとに動く「2 秒運針」になります。
その後、エネルギーが切れると時計が停止します。

「2 秒運針」になったときは、十分な充電をしてお使いください。→ P. 37

※2 秒運針中は、ライト点灯不可、アラーム音・操作確認音停止となります。

● 充電のめやすについて

デジタル表示がストップウォッチ表示以外のときに、ボタン **(B)** を長押しするとエネルギー残量レベルが確認できます。



エネルギー残量レベルが「BATT 6」以下になったら、積極的に充電を心がけてください。

	エネルギー残量 レベル表示	操作・機能の制限	そのときは
①	BATT 10～ BATT 7	ありません。	そのままお使いください。
②	BATT 6～ BATT 4		充電を心がけてください。→ P. 37
③	BATT 3～ BATT 2		①の状態になるまで、十分な充電をしてください。→ P. 37
④	BATT 1	ライト点灯不可 アラーム音・操作確認音停止	充電後は、そのままお使いください。
⑤	BATT 0 (全消灯)	①の状態になるまで、十分な充電をしてください。→ P. 37 ※すべての機能の設定がリセットされ、針の基準位置の情報も失われます。 BATT 0からの復帰後は、「時刻・日付の合わせかた」→ (P. 23)、「針の基準位置の合わせかた」→ (P. 26)を行ってください。 ※万が一、異常な動きになったときは、システムリセットをしてください。→ P. 61	

5

ソーラー充電機能について

JA 40

使用電源について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。

長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出ください。

警告

■ 二次電池交換時のご注意

- 二次電池は取り出さないでください。
二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
- 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

6

ご注意ください

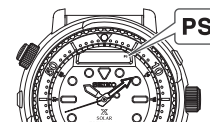
JA 42

■ パワーセーブ・スリープ機能について

光があたらず、ボタン操作が一定時間以上ない状態が続くと、パワーセーブ機能(節電機能)がはたらきます。

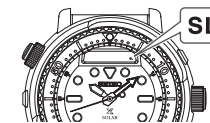
● パワーセーブモード

光があたらずにボタン操作がない状態が2時間を越えると、パワーセーブモードになります。パワーセーブモード中は、「PS」マークが点滅します。



● スリープモード

光があたらずにボタン操作がない状態が約3日間続くと、スリープモードになります。スリープモード中は、「SL」マークが点滅します。*スリープモード中は、ストップウォッチの計測がリセットされ、アラーム音が停止となります。



● パワーセーブ・スリープ機能を解除するには

以下のいずれかの操作をすると、パワーセーブ・スリープ機能は解除されます。

- 時計に光をあてる
- いずれかのボタン操作をする
- りゅうずの引き出しや押し込み操作をする

JA 41

※過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。*フル充電までの所要時間については「充電にかかる時間のめやす」→ P. 38を参照してください。

警告

■ 充電時のご注意

- 充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト(球)などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
- 太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
- 時計が60℃以上にならないようにしてください。

ご注意ください

6

JA 43

お手入れについて

● 日ごろからこまめにお手入れしてください

- りゅうずを引き出して洗わないでください。
- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
「性能と型式について」→ P. 45

● りゅうずは時々回してください

- りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。
「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 18

ご注意ください

6

JA 44

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約 10 分間:500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間~5 時間)発光します。光が当たらなくなったら輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

<照度のめやすについて>

環境		明るさ(照度)のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000~3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明(白色蛍光灯 40W の下で)	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

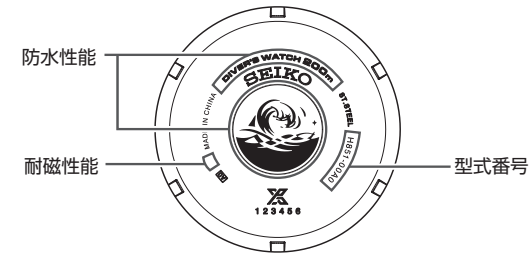
ご注意ください

6

JA 46

性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。



- 防水性能
 - 型式番号
 - 耐磁性能
- お客様の時計の種類を示す番号です。
P. 47 ~ P. 48 を参照ください。

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

ご注意ください

6

JA 45

耐磁性能について(磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

ダイバーズウォッチは、JIS 1 種相当以上の耐磁性能があります。

⚠ 危険	
裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 5 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS 1 種)
	磁気製品より 1 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS 2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

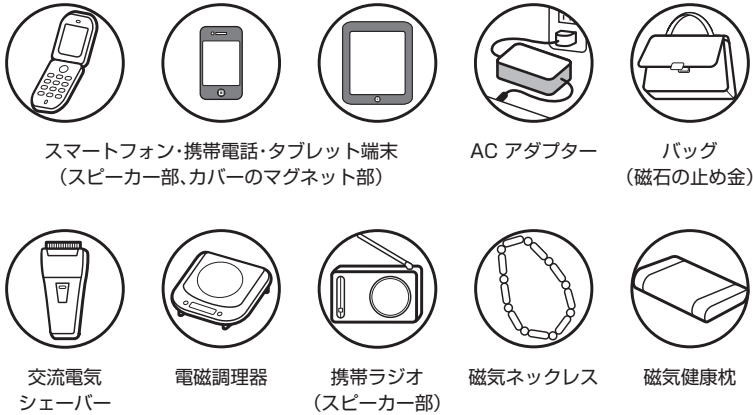
内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

ご注意ください

6

JA 47

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



● **ポリウレタンバンド**

- 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

● **シリコンバンド**

- 材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- 他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけない様、ご注意ください。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

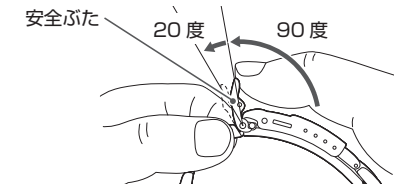
● **金属バンド**

- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

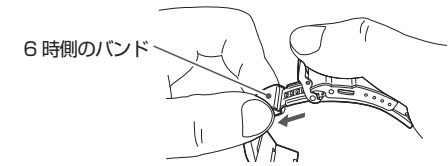
ダイバーアジャスターの操作

金属バンドで、ダイバーアジャスター機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

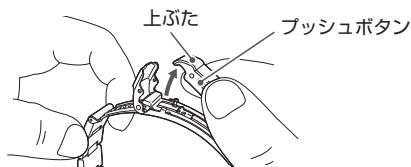
- 1 安全ぶたを 90 度起こし、さらに 20 度倒し、そのまま軽く押さえる**
- 多少抵抗がありますが、軽い力で倒れますので力を入れすぎないようにご注意ください。



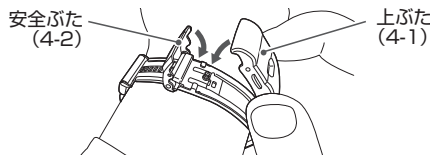
- 2 6 時側のバンドをバンドのカーブに沿う方向に(曲線を描くように)引く**
- この操作も軽い力でできますので、力を入れ過ぎないようにしてください。
 - スライダーは約 30mm 伸びます。無理に引き出さないようにご注意ください。



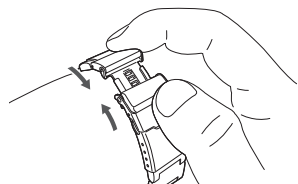
3 プッシュボタンを押しながら上ぶたを持ち上げて、中留を開き、手首につける



4 上ぶた(4-1)、安全ぶた(4-2)の順にふたを閉じる



5 時計をつけていない方の手で、バンドを適当なところまで縮める

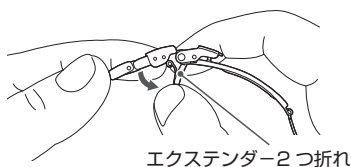


6

JA 52

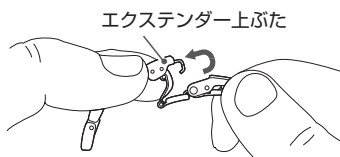
3 エクステンダー 2つ折れを矢印の方向に開く

- このとき抵抗があり、カチッと音がします。



エクステンダー2つ折れ

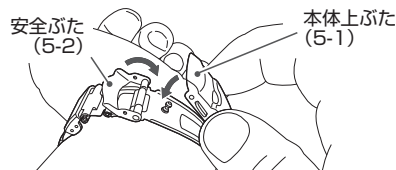
4 エクステンダー上ぶたを矢印の方向にスライドさせながら上へ引いて開く



エクステンダー上ぶた

5 腕に着け、本体上ぶた(5-1)、安全ぶた(5-2)の順にふたを閉じる

- ※短くするときは逆の手順でたたんでください。エクステンダーの2つ折れ部分をたたむとき、カチッと音がします。



安全ぶた(5-2)

本体上ぶた(5-1)

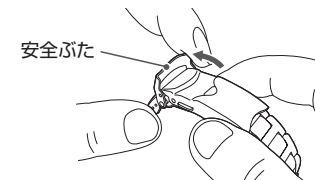
6

JA 54

ダイバーエクステンダーの使いかた

金属バンドで、ダイバーエクステンダー機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

1 安全ぶたを開く



安全ぶた

2 ボタンを押しながら本体上ぶたを開く

- 安全ぶたは危険防止のため、元の位置に戻します。



本体上ぶた

プッシュボタン

6

JA 53

アフターサービスについて

● 保証と修理について

- 修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご依頼ください。
- 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

● 補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

6

JA 55

● 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

- 長くご愛用いただくために、3年～4年に1度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。また、漏液により表示消えが生じることがあります。
- この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。特にご購入後3年～4年目の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は、「純正部品」とご指定の上、ご購入店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

⚠注意

ダイバーズウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、3～4年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。

こんなときには

現象	考えられる原因	このようにしてください	参照
時計が止まった	エネルギーがなくなったか少なくなっています。	秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。	P. 37
秒針が2秒ごとに運針している	毎日身につけていて、この現象が起こる場合は、携帯中に時計が衣類の袖の中に隠れているなど、十分に光があたっていないことが考えられます。	携帯中は、なるべく時計が袖などに隠れないように気をつけてください。また、時計を外した際にもなるべく明るい場所に置くことを心がけてください。	
止まっていた時計をエネルギー残量レベル「BATT 10」まで充電しても1秒運針にならないまたは動かない	時計内部のシステムが不安定になっている。	「システムリセットのしかた」を参照し、操作をしてください。	P. 61

● 内部照明(LED)について

発光ダイオード(LED)の光を導光板により、均一に拡散発光させる方式を採用しています。
※電池寿命切れが近づいて電圧が低下すると、輝度(明るさ)が低下します。

● 液晶パネルについて

この時計の液晶パネルは、7年を過ぎるとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなります。ご購入店に交換をお申し付けください。有料にて申し受けます。

現象	考えられる原因	このようにしてください	参照
時計が一時的に進む/遅れる	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	常温に戻れば元の精度に戻ります。元に戻らない場合は、ご購入店にご相談ください。	—
	磁気を発生するもののそばに置いた。	精度は、磁気の発生するものから離せば元に戻ります。元に戻らない場合は、ご購入店にご相談ください。	—
ボタンが機能しない(操作しても動かない)	エネルギー残量が少なくなっている。	秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。	P. 37

現象	考えられる原因	このようにしてください	参照
デジタル表示の時刻とアナログ表示の時刻がずれている	磁気が発生するものそばに置いた、または強い衝撃や振動が加えられた。	アナログ表示の針の基準位置を合わせ直してください。	P. 26
日付が日中に変わる	時刻が 12 時間ずれている。	時計合わせの「時」を、午前と午後に注意して正しく設定してください。	P. 23
ガラスのくもりが消えない	バッキンの劣化などにより時計内部に水が入った。	お買い上げ店にご相談ください。	—

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

製品仕様

機種	H851
1.基本機能	3針(時・分・秒)アナログ表示、デジタル表示
2.水晶振動数	32,768 Hz(Hz = 1 秒間の振動数)
3.精度	平均月差±15 秒以内 ただし、気温 5℃~35℃において腕につけた場合
4.作動温度範囲	-10℃~+60℃(ただし表示機能は 0℃~+50℃)
5.駆動方式(アナログ部)	ステップモーター式 3 個
6.表示体(デジタル部)	FE(電界効果)型ネマチック液晶
7.使用電源	二次電池: 1 個
8.持続時間	約 6 ヶ月(フル充電後に光があたらず、1 日あたりストップウォッチ 1 時間、ライト 1 回(2 秒)、アラーム 1 回(10 秒間)、パワーセーブ 6 時間で使用)
9.ライト(デジタル部)	内部照明: LED
10.電子回路	発振、分周、駆動: C-MOS LSI 1 個、LED 回路: C-MOS IC 1 個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

システムリセットのしかた

万が一、十分に充電しても動かないときや 1 秒運針にならないとき、または異常な動きになったときは、システムリセットを行うことで正常に機能するようになります。

1 りゅうずとボタンのロックをはずす

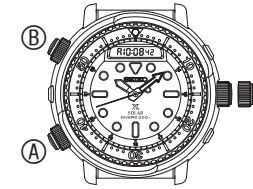
※「ねじロック式りゅうずについて」→ P. 18

2 りゅうずを引き出す



3 ボタン(A)とボタン(B)を同時に10秒以上押し続ける

- デジタル表示が消灯してシステムがリセットされます。ボタンを離すと、デジタル表示が時刻表示の時刻・日付設定状態になります。
- 時刻、カレンダーは 2019 年 1 月 1 日、火曜日、午前 12 時 00 分 00 秒からカウントを始めます。



4 針の基準位置と、時刻・日付を合わせる

- 「時刻・日付の合わせかた」→ P. 23
- 「針の基準位置の合わせかた」→ P. 26

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>